

Japanese Utility Model Application Laid-Open No. 61456/1978
(JP-U-53-61456)

What is claimed is:

A device for painting a pattern which equips a transferring roller brush and a paint-supplying roller supplying a paint to the transferring roller brush, wherein the transferring roller brush has a pattern convex or pattern concave on the outer surface thereof.

THIS PAGE BLANK (USPTO)

公開実用新案公報

昭53—61456

⑤Int. Cl.²

識別記号

⑥日本分類

庁内整理番号

④公開 昭和53年(1978)5月25日

B 05 C 17/02

24(7) C 22

6683—37

B 05 C 1/12

24(7) C 222

6683—37

審査請求 未請求

(全 1 頁)

⑭模様塗装々置

勝田市武田1060番地 日立工機株式会社内

⑰実 願 昭51—145710

⑰出 願 人 日立工機株式会社

⑱出 願 昭51(1976)10月29日

東京都千代田区大手町2丁目6

⑲考 案 者 鷹野修二

番2号

⑳実用新案登録請求の範囲

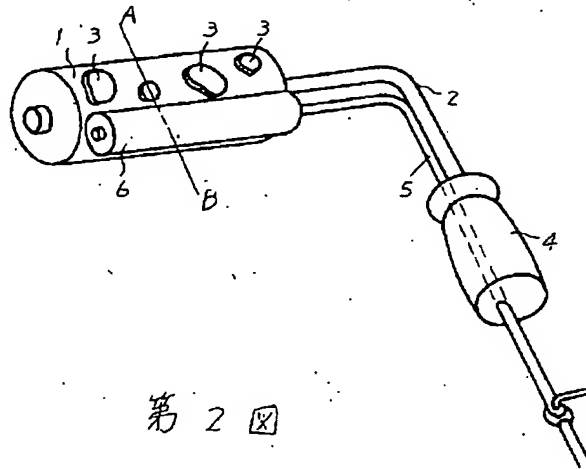
図面の簡単な説明

転写ローラ刷毛と、該転写ローラ刷毛に塗料を供給する塗料供給ローラとを備え、前記転写ローラ刷毛の外周面に模様凸起又は模様凹部を形成したことを特徴とする模様塗装々置。

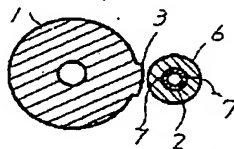
第1図は本案装置を示した斜視図、第2図は第1図におけるA—B断面図である。

1は転写ローラ刷毛、3は凸起、6は塗料供給ローラである。

第1図



第2図



正



実 用 新 案 登 録 願 (5)

(3000円)

昭和 51年 10月 29日

特許庁長官 殿

1 考 案 の 名 称

モロクトソクソクナ
模 様 監 査 ★ 置

2 考 案 者

居 所

茨城^{カツタ シタケダ}県勝田市武田^{パンチ}1060番地

氏 名

日立工機株式会社内
ヒタナコウキ
タカノツニウ
鷹 野 修 二

3 実用新案登録出願人

住 所

東京都^{チリダノオオテマナチリウノ}千代田区大手町2丁目6番2号

名 称

日立工機株式会社

(309)

代表者 網 盛

4 添付書類の目録

(1) 明 細 書

/ 通

(2) 図 面

/ 通

(3) 願 書 副 本

/ 通

51 145710

53.61456

明 細 書

1. 考案の名称 模様塗装々置

2. 実用新案登録請求の範囲

転写ローラ刷毛と、該転写ローラ刷毛に塗料を供給する塗料供給ローラとを備え、前記転写ローラ刷毛の外周面に模様凸起又は模様凹部を形成したことを特徴とする模様塗装々置。

3. 考案の詳細な説明

本案は、模様塗装々置に関するものである。

従来、模様塗装をするには、先ず下地塗装を施し、次に、型紙を置いて吹き付け又は刷毛塗りを行つていた。

本案は、型紙なしで模様塗装を行なうことを目的とするものであり、以下に本案を実施例によつて説明する。

1 は L 形アーム 2 の先端に回転自在に取付けた転写ローラ刷毛であつて、ローラ刷毛 1 の外周面には複數個の模様凸起 3、3 …… が突設されている。前記ローラ刷毛 1 はフェルト、又はスポン

ジの如き塗料の含蓄可能な材料で形成されている。

アーム2の後端にはハンドル4が固定されており、ハンドル4に塗料供給管5が支持されている。管5の先端には塗料供給ローラ6が回転自在に取り付けられており、塗料供給ローラ6は、転写ローラ刷毛1に平行であり、かつ凸起3に接して配設されている。7、7は小穴であつて、管5を通して供給された塗料は小穴7、7からローラ6に浸み込む。ローラ6はローラ刷毛1と同様に塗料の含蓄可能なフェルト、スポンジなどで構成されている。8は塗料の供給量の調節を行なうバルブである。

以上の構成において、被塗装面にローラ刷毛1を押しつけながら転動させると、ローラ6から凸起3に塗料が付着し、その塗料が凸起3によつて被塗装面に付着し、模様塗装が行なわれる。模様の異なる塗装を行なう場合には、ローラ刷毛1をアーム2に着脱自在となし、そして異なる配列の凸起をもつたローラ刷毛1を何種類か準備しておき、ローラ刷毛1を適宜交換すればよい。

本実施例においては、ローラ刷毛 1 の表面に凸起 3 を配設した例を示したが、逆にローラ刷毛 1 の表面に凹部を形成してもよい。この場合においては、ローラ刷毛 1 の表面にのみ塗料が供給され、凹部には供給されない。

本案は上記の構成であるから、型紙を要しないで模様塗装を行なうことができる。

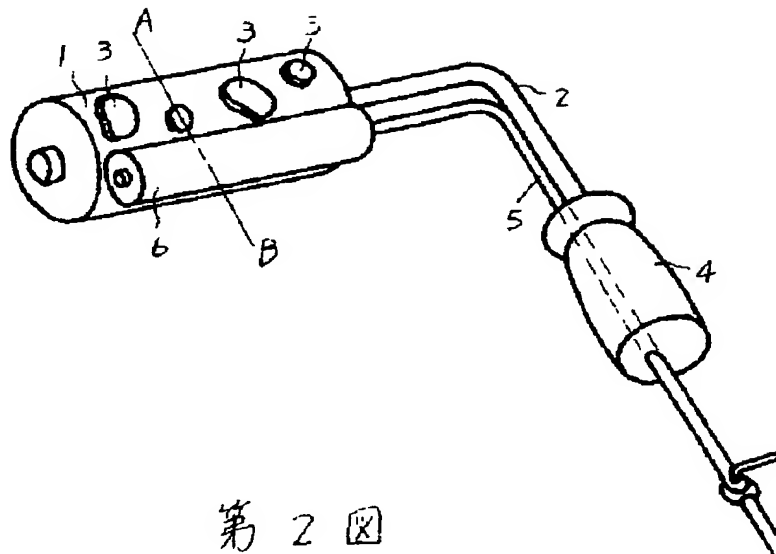
4. 図面の簡単な説明

第 1 図は本案装置を示した斜視図、第 2 図は第 1 図における A - B 断面図である。

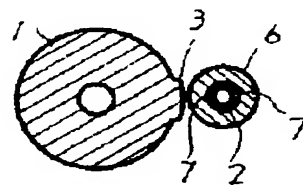
1 は転写ローラ刷毛、3 は凸起、5 は塗料供給ローラである。

実用新案登録出願人の名称 日立工機株式会社

第 1 図



第 2 図



実用新案登録出願人の名称 日立工機株式会社

61456

BEST AVAILABLE COPY